

はるにれ

海老名市立有馬小学校 学校だより
平成30年2月28日号

校長 村松 かおり

温かい言葉を使える人に…

2月の朝会で、昇降口前のふわふわの木に貼ってある「ほめほめ言葉」や「はげまし言葉」を元に、次のような話をしました。(一部抜粋)

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
相手の気持ちを想像し、それに寄り添うように選んだ言葉は、たった一言でも人の心を温めたり、励ましたりします。言葉を使って自分の気持ちを誰かに伝えたり、言葉を通して人の気持ちを知ったりするのは、人間だからこそできることです。動物も鳴くことはありますが、人間ほどたくさんの感情を伝えることはできません。せつかく持っている力だから、いろいろなところでうまく使えるようにしたいですね。

今週からなわとび週間で大縄にチャレンジします。誰かが縄にひっかかってうまくいかなかった時、どんな言葉を掛け合ったら励まされるか。逆に、連続してうまく跳べた時、どんな言葉を掛け合ったらさらにがんばれるか。そんなことも考えながら取り組めるといいと思います。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
朝会から2週間後のなわとび集会では、全校で5分間大縄を行い、合計2044回跳ぶことができました。回数の増加はもちろん励みや自信になりますが、「1・2・3…」と数える声に混じって聞こえてきた「がんばれ」「ドンマイ」「まだいけるよ!」といった声が、子ども達の心の成長につながるのではと思います。

ネットを中心に、感情むき出しの単語や記号化した文がやり取りされがちな昨今だからこそ、「言葉の力」を実感する機会を大切にしていきたいです。



年度末を迎えて

今年度も残り1か月、様々な面でまとめの時期を迎えています。2/9(金)には授業研究のまとめとして、ひびきあう教育研究発表会を行いました。他校の先生方に公開した2・3・6年各1学級の授業では、普段と異なる雰囲気にも萎縮することなく、積極的に学んでいたとお褒めの言葉をいただきました。

また、翌10日には市のPTA活動研究集会において、本部役員の皆様方が1年間のPTA活動の報告とともに、ありまっ子の笑顔あふれる学校生活の様子をわかりやすく伝えてくださいました。

3月の行事予定

- 2日(金) ありまっ子応援団運営委員会
 - 5日(月) 朝会
 - 6日(火) PTA運営委員会 普通日課5校時
 - 8日(木) 普通日課5校時
 - 9日(金) 児童集会(6年お別れ集会)
 - 12日(月) お別れ式 大掃除週間(~16日)
 - 13日(火) 卒業式合同練習(4~6年)
有馬中体験入学(6年)
 - 15日(木) 卒業式予行練習(4~6年)
 - 16日(金) 大掃除
 - 19日(月) 給食終了
卒業式前日準備(4・5年)
 - 20日(火) 第125回卒業証書授与式
 - 22日(木) 短縮日課4校時
 - 23日(金) 修了式 短縮日課3校時
- ★学校訪問相談(木曜日) 1日・8日



ゆるやかなつながりの中で

有馬中学校区で「学びと人のつながり」を目指す小中一貫教育の取組が始まって3年がたちます。有馬中の先生による6年生の算数・理科の授業もすっかり定着しました。数学の学習領域との連続性を意識した望月先生の授業は、小学校での学びが無理なくつながるよう工夫されたものです。また、専門的な知識や経験に基づく野口先生の理科の授業により、子ども達は実験・観察等の基本を自然と身に付けています。隣接校のよさで、行事や登下校の様子を日常的に見てくださっているのもありがたいです。



2月上旬には、中学生の美術作品をお借りし展示しました。子ども達は「ポスターの字がかっこいい」「色の塗り方がすごく上手」と驚きながら鑑賞していました。1・2年生は職場体験に来た中学生と2日間を過ごし大喜びでした。小さな経験の積み重ねが、成長していくことへの期待感や憧れ、意欲につながるよう、今後も4校で歩調を合わせ進めてまいります。

